

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-01

なし

---

(発行年 / Year)

1910

謹啓

勅旨清纏奉慶賀候儲失火之為ノ類燒  
シタル損害賠償ニ關スル規程更改ノ件  
ニ付テ別紙ニ要旨摘録致置候條々審  
査ニ上法律改正ノ御指置相成度候様  
仕度茲ニ三河國豊橋町附近実業家四  
百五十余名ヲ代表シ御信ヲ具陳仕候頃  
首

明治三十一年十二月廿三日

三河國渥美郡豊橋町

上傳馬百十五番戸ニテ

豊橋實業談話會之頭

遠藤安太郎

法典調査會

内閣ニ於テ

法典調査會御中

甲者火ヲ失シ為メニ類焼シタル乙者以下ハ之  
カ要償ヲ為シ得ガリシハ刑法附則第五十九  
條ノ保障ナル所ナリニ這般民法施行法第  
百十一條ヲ以テ之ヲ削除セラレタリ法理ノ原  
則夫レ或ハ然ラン然レトモ元來失火ハ故意ニ  
依リテ為スモノニ非ラス何レモ過失ニ出ツル  
ニ外ナラズ故ニ乙者以下ヲ類焼セシムル場合  
ハ必ス甲者ハ多少ノ損害アルヲ免レス常人ノ  
視テ以テ恻隱ノ意ヲ起スハ世間普通ノ人情  
ニ有之況ニヤ此不幸者ニ向ツテ更ニ乙者以下  
ノ損害ノ責ヲ負ハシムルニ於テオヤ刑法附則  
ノ保障アリシモ社會カ否認セサリシハ皆此道  
義心ノ存セルニ外ナラス加之我國家屋ノ構造

法典調查會

ハ大概木造ニシテ其地震ノ多キ到底全部石造  
又ハ煉瓦造ニ更改スルハ得テ望ムベカラザル  
事ニシテ一朝火ヲ失スルニ際シテハ人力ノ完  
ク防止シ得ザルヤキニ非ラス故ニ消防力ノ完  
備セル東京ニ於テモ一隣時ニ數千戸ヲ焼失ス  
ルハ實例ノ示セル所ナリ此ニ要點ヲ以テセバ  
甲者ノ不注意ヲ責ムルニ刑法ノ罰則ヲ以テシ  
加フルニ乙者以下ハ損害ノ賠償ヲセシムルニ  
ハ一ハ法ヲ以テ道義心ヲ破壊セシメ一ハ人力  
ノ完ク防護シ能ハサルモノニ對シ尚ホ責ヲ負  
ハシムルハ苛汰タルヲ免レス若シ夫レ法ノ余  
スル如ク賠償スヘキモノトセハ茲ニ社會ノ秩  
秩序ヲ紊亂スルニ至ルヘシ如何トナレバ失火者

富有ナラハ要償餘ス所ナク故令數百萬ノ財產  
 ラ有ルモ年償ノ余力ナク遂ニ破産ナルニ至  
 ルバク之ニ反シテ貧者ノ失火ニタルトキハ素  
 ト無一物ナルヲ以テ唐ニ破産スルニ止マリ（破  
産ノ常ニ破産ト無物ナルヲ）乙者以下ノ損害ヲ  
 償フ事ナカルベシ之レ則テ法理ニノミ走リテ  
 實地ニ着目セサルノ結果ニ非ズシテ何ゾマ  
 語ヲ替ヘテ云ハレ法律が富有ニ取リテ貧者ニ  
 與ヘ國民ヲシテ勉勵心ヲ喪失セシムルモノナ  
 リト云モ過言ナラサヘシ故ニ吾人ハ宜シク  
 刑法附則第五十九條ノ復讞セラレ法律ヲ  
 以テ強ヒテ道義心ヲ抑制スルカ如キ事無カラ  
 ン事ヲ希望スルニアリ